

スーパー大区画通信



スーパー大区画導入実証事業の最新情報をお知らせします！

Vol.5(2017. 2)

農政部農地整備課
下都賀農業振興事務所

大区画化による作業の効率化を実証！ (第3回スーパー大区画導入実証検討会)



平成29年1月20日(金)、3回目となるスーパー大区画導入実証検討会(以下、検討会)を道の駅しもつけ研修室で開催しました。

今回は、平成28年度調査結果及び平成29年度調査計画案について検討を行いました。事務局より「大区画化により作業の効率化が図られた。収量調査の結果から大区画化による減収はなかった。」などの結果報告を行いました。

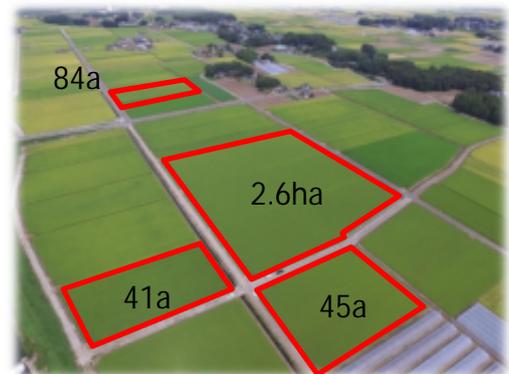
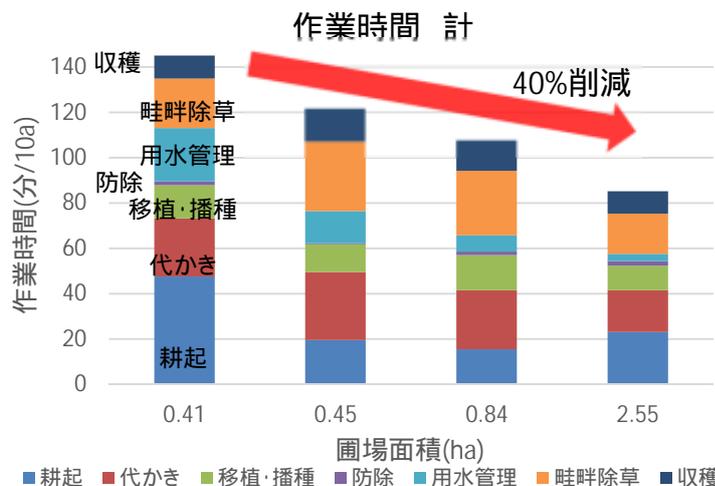
来年度は、引き続き大区画化による作業の効率化と併せて、省力化栽培技術やICTを活用した圃場水管理システムの効果を検証する計画となっています。

検討会の様子



情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称。ICTは「Information and Communication Technology(インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー)」の略語で日本では「情報通信技術」と訳されています。

調査結果

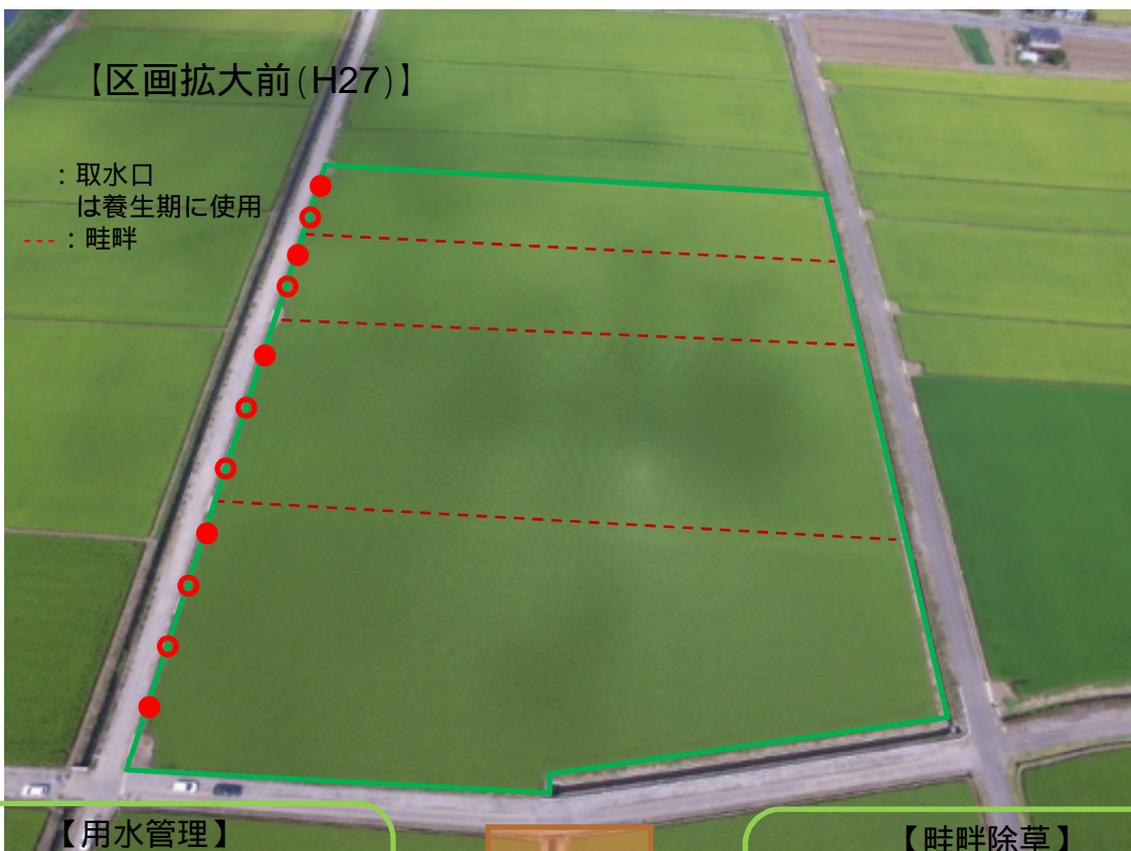


調査対象圃場

作業毎のバラツキはありましたが、2.6haのスーパー大区画の10aあたりの作業時間は41aの水田と比較して40%の削減が図られました。
また、削減された作業時間を生産コストに換算すると20%の削減となりました。

調査結果

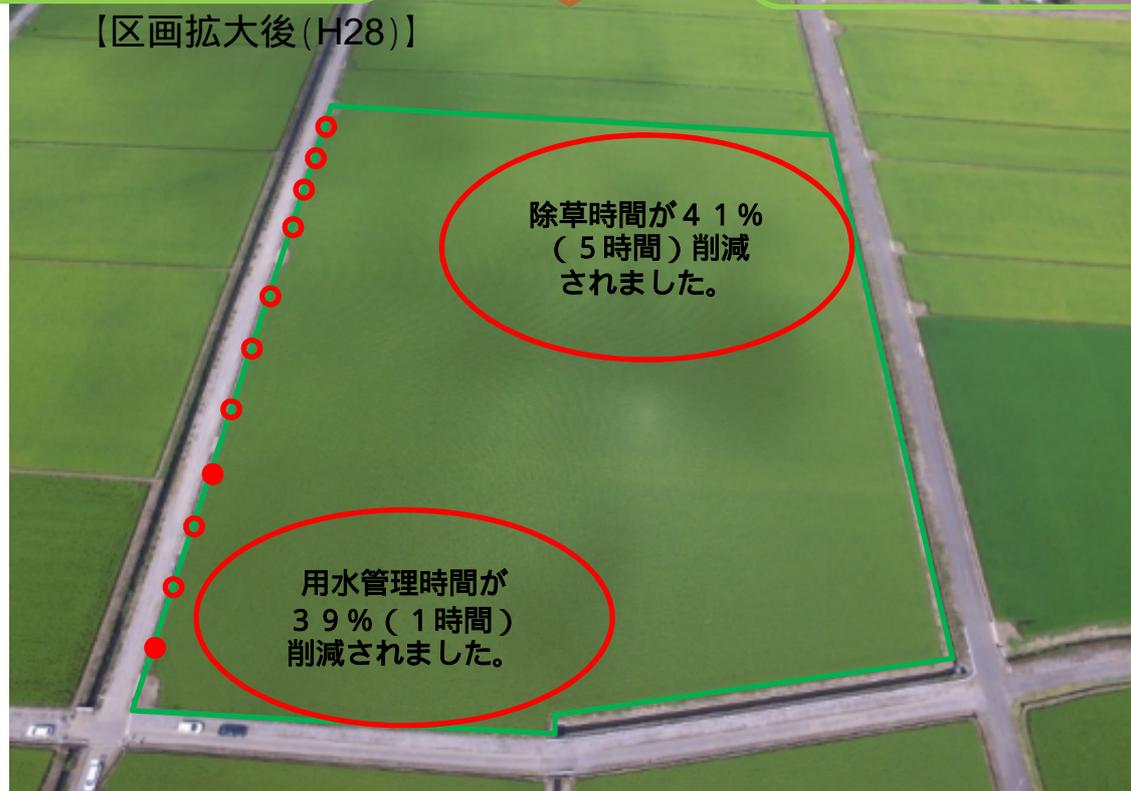
区画拡大前後の用水管理、畦畔除草作業を比べてみると・・・



【用水管理】
管理箇所数 (養生期)
5箇所 2箇所
管理時間 (H28調査より)
152分 92分

【筆数】
4枚 1枚

【畦畔除草】
畦畔延長
1,090m 640m
除草時間 (H28調査より)
770分 452分



今年度を振り返ると・・・



5月 初の田植え



4月 自動止水栓設置



9月 上空写真



8月 案内板設置



10月 初の稲刈り



11月 均平調査

来年度の予定

【水管理の省力化】

圃場水管理システム：

ICTを活用した遠隔・自動給水を行い、水管理作業の節減について調査（2.6ha）

【育苗・移植作業の省力化】

密播苗の移植：

育苗の際に1箱の播種量を多くして苗箱数を減らし、育苗コストの削減や苗運び労力の節減について調査（2.6ha）

乾田直播栽培：

種籾を水田に直接播種し、春作業（育苗・移植作業の省略）の効率化について調査（45a）